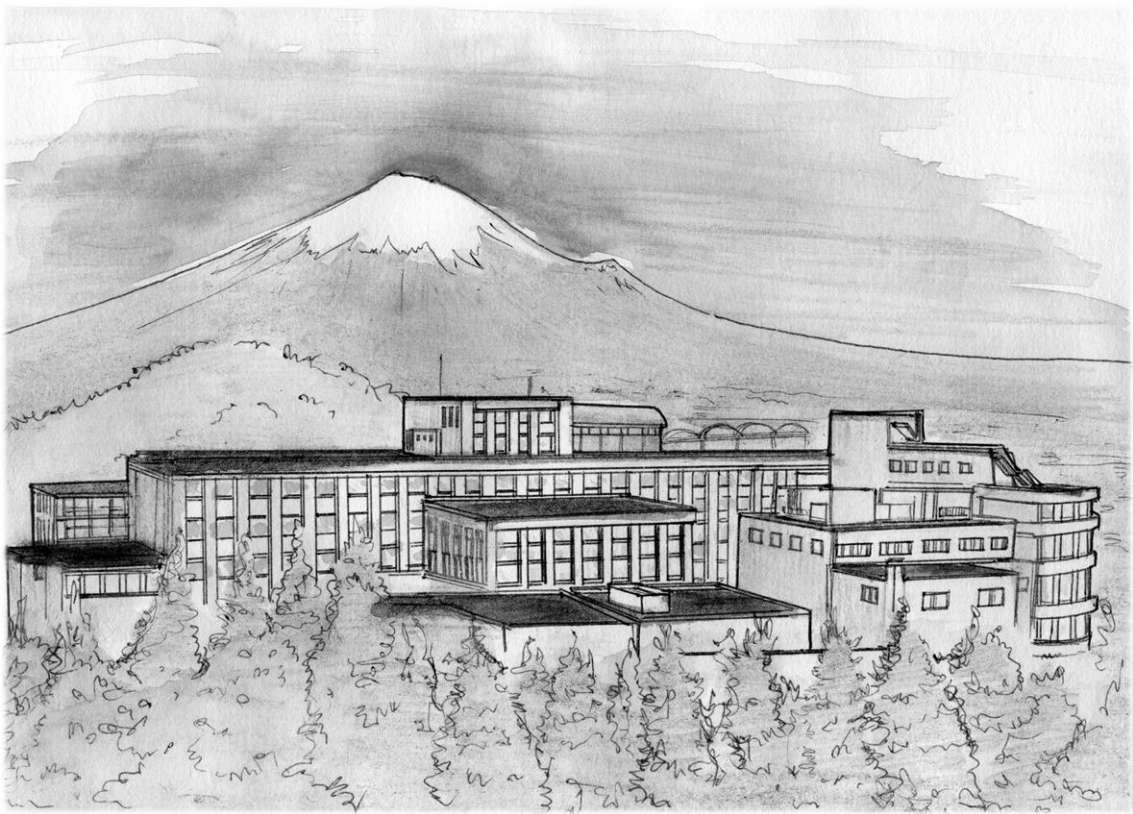


令和2年度

共立蒲原総合病院年報



共立蒲原総合病院の理念

1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
2. 患者中心の全人的医療を提供する。
3. 健全な収支の確立に努める。
4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。

共立蒲原総合病院の方針

1. 病院中期経営計画の目標を達成する。
2. チーム医療を促進する。
3. 経営資源を適切に活用する。
4. 倫理観を持って行動する。

第10号の発行にあたって

院長 西ヶ谷 和 之

令和2年度は新型コロナウイルス感染症（コロナ）の大流行により、世界中に多くの犠牲者が発生し、あらゆる人間社会に甚大な被害をもたらした年でした。日本においても未曾有の国難となり、社会経済活動に大きな損害が発生しました。また、国民の精神的な打撃も計り知れません。いまだに収束していない状況です。自由なのびのびとした旅行、人と人との暖かい触れ合い、仲間との時間を忘れるほどの楽しい語らいなど人間らしい生活は遠い昔の話となり、我慢、我慢、我慢の年でした。2020年東京オリンピック・パラリンピックが延期されるという事態はその象徴的な出来事であり、日本全国で外国人も含めた旅行者が激減していきました。ロックダウン、非常事態宣言措置、蔓延防止等特別措置など、今まで聞いた事のない単語をいっぱい耳にしました。毎日のように新規のコロナ陽性者の発生数に目を向け、県内の動向に気を病む毎日であったように思います。マスクの着用・手指衛生・三密回避は常識となり、TVの中での人と人との対談は透明な衝立を介したシーンがあたりまえで、テレワークやWeb会議は流行し会議や学会もWeb開催へと変わっていきました。オンライン診療の必要性、利便性なども話題となりました。世の中の仕組みや流れが大きく変わっていった年でした。

院内で令和2年度に行ったコロナ対策関連事項のうち、10項目を選んで挙げてみました。

- ① 帰国者・接触者外来（患者数211人）や発熱外来（患者数604人）の設置、富士市医師会が運営する地域外来・検査センター（患者数235人）に対して約5か月間にわたり院内の場所を提供し、当院の職員が協力したこと
- ② 院内コロナ対策本部会議を36回開催したこと
- ③ コロナの感染防止のため、PPEに関する備品やへパフィルターユニット、新館CT装置の設置など多くの物品を準備してきたこと
- ④ COVID病棟を4月27日に開設し、7月22日から今年度末まで51人の入院患者さんを治療してきたこと
- ⑤ 8月3日からコロナの抗原定量検査、12月28日からはPCR検査の院内検査体制を立ち上げ、令和3年1月から入院患者さんの全員と一部の外来患者さんに抗原定量検査を行ったこと
- ⑥ 11月2日（11月16日通知）に静岡県から発熱等診療医療機関に指定され、11月26日に専用の陰圧テントを設置したこと
- ⑦ 年末年始の長期休暇にも毎日発熱外来を開き、また、富士保健所からの要請でコロナ陽性患者さんのメディカルチェックを行ってきたこと
- ⑧ 他院でコロナのクラスターが発生した時期にも積極的に救急患者さんの受け入れをしてきたこと
- ⑨ コロナ院内発生時のBCPの作成に着手したこと
- ⑩ コロナのワクチン予防接種の準備を開始したこと

など多くのことをやってきました。その結果、この地域のコロナの診断・治療に貢献し、コロナの院内発生を防ぐことができました。これらは職員全員の理解と協力があって行ってきたことであり、大変感謝申し上げます。まだまだ油断はできません。今後もコロナ対策を引続いて行いながら、院内発生、クラスター化を防止していかねばなりません。マスクの着用・手指衛生・三密回避の基本事項はもとより、院内における適切な防疫体制の徹底を続けていかななくてはなりません。次年度は新型コロ

ワクチン接種が我が国の一大事業となります。

令和元年9月26日に厚労省が地域医療構想を進める中で、再検証を要する病院として424の病院名が公表されました。その中に当院の名前が含まれていました。厚労省では令和2年度中に地域医療構想の結論を出すことになっていましたが、コロナのために延期となってしまいました。しかし、静岡県では各構想区域で、当院の場合には富士市と富士宮市からなる富士医療圏の調整会議の場で話し合わせ、令和3年3月までに結論を出し県に報告することになりました。令和3年2月8日に富士圏域で地域医療構想調整会議が開かれ、当院の意見（減床も病床機能の変更もしないで、今後も現状の機能病床を維持しながら運営していく）を述べ、お諮りして認めていただきました。今後は働き方改革が医師においても具体的に話がさらに進むことと思います。これにも準備が必要と考えています。

本館空調設備更新工事及び病棟改修工事の開始がコロナ対策のために、4月から10月に延期せざるをえませんでした。第1期、第2期工事は終了し、本館3階は病棟がきれいになりました。来年度は、第3期、第4期工事を行い、令和3年9月にはすべて終了する予定です。工事がすでに終了した病棟では、夏季の24時間連続した冷房運転が可能となっています。

常勤医師の入職は2名、退職が1名（定年延長後の退職）でした。令和2年5月14日に約15年ぶりに心臓カテーテル検査と治療が再開されました。健康診断センターでは、検診システム及びレントゲン検診バス1台の更新を行いました。救急外来には、80列のレントゲンCT撮影装置を設置し、救急外来でのCT装置を再稼働させることができ、救急患者さんへの利便性が向上しました。

令和2年度の経常収支は、収入も費用もコロナの影響を受けたもので、例年との比較は難しいと考えられます。しかし、平成30年度、令和元年度そして令和2年度を含めた最近3年間の年間赤字額は、すべて3億6千万円余で似たような数字でした。収支としては足踏み状態と言ったところです。令和2年度のDPC機能評価係数Ⅱ（標準病院群）は9.440%で、全国の標準病院群の中での偏差値は54.8と過去6年間の数値としては最高値でした。静岡県内の45病院（すべての病院群を含む）の中では20位であり、これは効率性係数や救急医療係数が伸びていることに起因していると思われます。

この地域の患者さん、利用者さん、そしてその家族の方々が蒲原病院は絶対必要であると強く実感していただくことが最も重要です。サステナブルな病院であることの理由がそこにあるからです。SDGsの公立病院versionを今後は具体的に作成していく必要があるかもしれません。地域に密着した医療機関、福祉施設であることを特に意識して、地域住民への医療・福祉のサービス向上に職員一同、励んでいくつもりです。コロナ禍ではありますが、皆で団結して、我慢強く、諸課題にあたっていきたいと考えています。当院の第二次中期経営計画が令和3年3月に終了し、令和3年4月からは第三次中期経営計画が始まります。

次年度の令和3年度は、現在コロナには有効な治療薬がなく、ワクチン頼みの状態となると思われませんが、令和3年度こそは、コロナが早く収束して、コロナ流行前の診療体制に戻り、地域医療に貢献できることを祈るばかりです。

目 次

共立蒲原総合病院の理念

共立蒲原総合病院の方針

第10号の発行にあたって（院長）

I 概要・沿革

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

II 現況

- 1 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 2 職員数・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 3 正規職員平均年齢・・・・・・・・8
- 4 建物案内・平面図
 - (1) 建物案内・・・・・・・・・・9
 - (2) 平面図・・・・・・・・・・10
- 5 施設概要・・・・・・・・・・16
- 6 設備概要・・・・・・・・・・16
- 7 主な医療機器
 - (1) 病院・・・・・・・・・・17
 - (2) 健康診断センター・・・・・・・・17
- 8 病床数・・・・・・・・・・18
- 9 診療科目・・・・・・・・・・18
- 10 診療受付時間・・・・・・・・・・18
- 11 診療サービス区分・・・・・・・・18
- 12 施設指定等・・・・・・・・・・18
- 13 各学会認定（指定）施設・・・・・・・・18
- 14 病院開設許可等・・・・・・・・・・18
- 15 施設基準
 - (1) 基本診療料・・・・・・・・・・19
 - (2) 特掲診療料・・・・・・・・・・19
- 16 病院組合議会・・・・・・・・・・20
- 17 院内会議及び委員会・・・・・・・・21
- 18 病院情報システム・・・・・・・・24

III 経営

- 1 業務概況・・・・・・・・・・25
 - (1) 業務の状況・・・・・・・・・・25
 - (2) 事業収支について・・・・・・・・25
 - (3) 資本的収支について・・・・・・・・25
- 2 業務実績・・・・・・・・・・26

- 3 損益計算書・・・・・・・・・・27
- 4 貸借対照表・・・・・・・・・・29

IV 診療統計

- 1 入院
 - (1) 入院総括・・・・・・・・・・31
 - (2) 診療科別入院患者延数・・・・・・・・31
 - (3) 病棟別入院患者の状況・・・・・・・・32
 - (4) 診療科別・年齢別入院患者延数・・・・34
 - (5) 地区別・診療科別入院患者延数・・・・35
 - (6) 地区別入院患者延数推移（5年間）・・・35
 - (7) 地区別入院患者割合推移（5年間）・・・35
- 2 外来
 - (1) 外来総括・・・・・・・・・・36
 - (2) 診療科別外来患者延数・・・・・・・・36
 - (3) 診療科別・年齢別外来患者延数・・・・37
 - (4) 地区別・診療科別外来患者延数・・・・38
 - (5) 地区別外来患者延数推移（5年間）・・・38
 - (6) 地区別外来患者割合推移（5年間）・・・38
- 3 救急医療
 - (1) 診療科別患者延数・・・・・・・・39
 - (2) 診療科別・月別患者延数・・・・・・・・40
 - (3) 地区別・月別患者延数・・・・・・・・41
- 4 手術
 - (1) 診療科別・年度別手術件数・・・・・・・・42
 - (2) 診療科別・月別手術件数・・・・・・・・42
 - (3) 診療科別・月別麻酔件数・・・・・・・・42
 - (4) 診療科別・内容別手術件数
 - ① 内科・・・・・・・・・・43
 - ② 外科・・・・・・・・・・43
 - ③ 整形外科・・・・・・・・・・44
 - ④ 脳神経外科・・・・・・・・・・44
 - ⑤ 泌尿器科・・・・・・・・・・45
 - ⑥ 眼科・・・・・・・・・・45
 - ⑦ 内視鏡センター・・・・・・・・46
- 5 人工透析センター・・・・・・・・47

目次

6 死亡件数	(4) 医療情報の開示……………63
(1) 診療科別死亡件数……………47	15 地域医療支援室
(2) 死亡及び剖検件数……………47	(1) 診療科別紹介患者延数……………64
7 薬局	(2) 紹介率・逆紹介率……………64
(1) 処方箋枚数、錠数、疑義照会件数……………48	(3) 医療相談……………65
(2) 服薬指導……………48	16 医療安全への取り組み……………68
(3) 院内製剤……………48	17 感染防止への取り組み……………72
8 検査科……………49	
9 放射線科	V 看護部
(1) 年度別検査件数……………50	看護部理念……………74
(2) 医療機器共同利用件数……………50	看護部方針……………74
(3) 健康診断センターにおける年度別検査件数……………50	看護部目標……………74
10 リハビリテーション科	1 各部署の年間目標に対する評価
(1) リハビリ処方箋件数……………51	(1) 看護部……………74
(2) 診断名別リハビリ処方患者実数……………51	(2) 外来……………80
(3) 年度別リハビリ件数……………52	(3) 東2病棟……………81
11 栄養管理科	(4) 新2病棟……………82
(1) 栄養指導件数……………53	(5) 東3病棟……………83
(2) 給食数……………54	(6) 西3病棟……………84
(3) N S T 報告……………54	(7) 本4病棟……………85
12 訪問看護ステーション	(8) 新3病棟……………86
(1) 訪問対象者……………55	(9) 人工透析センター……………87
(2) 年齢別訪問対象者……………55	(10) 手術室……………88
(3) 医療機関別訪問対象者……………55	(11) 訪問看護ステーション……………89
(4) 訪問看護対象者の状況……………55	(12) 健康診断センター……………90
(5) 訪問利用者延数……………56	2 看護部教育院外研修……………91
(6) 地区別利用者延数推移（5年間）……………56	3 院内看護研究会……………91
(7) 地区別利用者割合推移（5年間）……………56	4 認定看護師・実践看護師の活動報告
(8) 訪問対象者の主な疾患……………57	(1) 感染制御実践看護師……………92
(9) 訪問看護の内容……………57	(2) がん化学療法看護認定看護師……………94
(10) 対象者が受けている医療内容……………57	(3) 透析看護認定看護師……………95
13 健康診断センター	(4) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師……………96
(1) 年度別受診者実数……………58	(5) 認知症看護認定看護師……………97
(2) 項目別悪性所見発見者数……………58	(6) 緩和ケア認定看護師……………98
14 診療録管理室	
(1) 疾病統計	VI 研究
① 疾病別・診療科別入院患者実数……………59	1 医局
② 疾病別・年齢別入院患者実数……………60	(1) 学会・研修会等出席者数……………99
(2) 手術統計……………61	(2) 学会及び研究会報告……………99
(3) 死亡統計……………63	(3) 対外活動……………99

目 次

2 診療技術部

- (1) 学会・研修会等出席者数……………100
- (2) 著書・刊行論文……………100
- (3) 学会及び研究会報告……………100
- (4) 対外活動……………100

3 看護部

- (1) 学会・研修会等出席者数……………101
- (2) 学会及び研究会報告……………101

VII その他

- 1 年間行事……………102
- 2 蒲原病院健康フェスタ……………108
- 3 市民公開講座……………108
- 4 蒲原病院だより……………108